



たくましさは、瞳に宿る。

愛され、大切に育てられた牛は、一目で美しい。  
毛並み、肉付き、シルエット。しかし、それだけではない。  
誇りを背負った牛には、たくましさがある。  
それを最も表現するのが、瞳だ。見る者を圧倒する生命力、  
まるでこちらに何かを訴えているような眼差し。  
宮崎を、日本を代表する小林の牛の瞳には、そんなたくましさ宿っている。  
生産者をはじめとした多くの人々の愛、希望、信念と共に育てられた小林産宮崎牛。

いま再び、日本一へ、一步一步。



# 広報こばやし KOBAYASHI



## 全共とは 小林の畜産の力で挑む 「全国和牛能力共進会」

5年に1度開催される「全国和牛能力共進会」は、日本各地の優秀な和牛が一堂に会し、その改良の成果や飼育管理技術を競う、通称「和牛のオリンピック」とも呼ばれています。

全国屈指の畜産のまち・小林市は前回、前々回と内閣総理大臣賞（日本一）の獲得に貢献。8月に行われた宮崎県代表牛決定検査では、枝肉を評価する「肉牛の部」と牛の姿を評価する「種牛の部」から各2名、特別区の「高校の部」から小林秀峰高校が宮崎代表として選出。10月に鹿児島で開催される全国大会に、今回も小林の“畜産の力”をもって挑みます。



## 高校生 Interview



**小林秀峰高校農業クラブ**  
松元 未美さん / 「まひろ」  
まひろを信じてよかった——今大会から高校および農業高等学校の部として正式区に格上げとなった「特別区」で、小林秀峰高校の名前が呼ばれた時、最初に抱いた感情がそれでした。最初は結果を受けて「信じられない」という驚きで胸がいっぱいでしたが、場内パレードで先頭に立ち、まひろと歩くと実感がじわじわと込み上げ、これまでの努力や苦労が何度も頭をよぎりました。牛を育てている父母の背中を見て育った私は、いずれ親の跡を継ぎたいと思っています、この農業クラブに入りました。特に、最終学年を迎える3年次にこの全共に挑戦できるのも大きなモチベーションでした。当クラブは5年前の大会でも2区優等賞5席という結果を残しています。10月もまひろを信じ、全共にふさわしい姿で、仲間と共に全国の舞台に挑みたいと思っています。

## 種牛の部 Interview



### 悔しさを糧に、前へ

もり た ま さ おお  
森田正明さん / 「いりす184」

10年前に地元・小林に帰り、今大会が3回目の全共出場になります。私にとって全共は、全国から集まる畜産農家と腕くらべをする「農家の祭り」のようなもの。自分の実力を試す絶好の機会ですが、大会後は毎回反省の気持ちでいっぱいです。それでも、その悔しさを糧に、挑戦を続けています。今回の宮崎県予選では西諸の若手の力を感じ、今後の畜産業界が非常に楽しみになりました。宮崎代表に選ばれたからには好成績を目指したいと思っています。



### 父と同じ憧れの舞台に挑む

もり た ゆ う と  
森田悠斗さん / 「やすこ」

高校卒業後、就農して農協の肥育センターで働いて3年目になります。全共で2大会連続の優等首席を獲得した繁殖農家の父の姿を見て、「自分も同じ様に全国の舞台に立ちたい」と努力してきました。8月の検査会で宮崎県代表に選ばれて、これまでの頑張りや報われた気持ちです。今回出場する2区では、父の出品した牛が惜しくも前々回大会で優等2席という結果となり、悔しい思いをしました。憧れの全共。父のような立派な姿で挑みたいのです。

## 肉牛の部 Interview



### チーム西諸で、日本一に

ほろ ば ば とうせい  
(有)馬場牧場 馬場幸成さん /  
6区「美華満天」、7区「弥土52の3」

畜産農家歴40年の私にとっても5年に1度開催される全共は特別な大会です。前回大会の8区での内閣総理大臣賞の獲得や今回宮崎代表に選ばれたのは、優秀な西諸の生産農家の力や、私たち畜産農家が困った時にすぐに駆けつけて、適切なアドバイスをしてくれる畜産技術員のおかげであることは間違いありません。この“チーム西諸”の強みを生かし、ライバル鹿児島に負けたくないような牛と共に、10月の全共に臨みたいと思っています。



### 娘と二人三脚での挑戦

たけ の うち としひろ  
竹之内利弘さん / 「松297」

私の代から肥育農家を始めてもう50年。楽な仕事ではありませんが、目に見える形で成果を実感できるのは大きなやりがいです。その一つが、全共。現在は主に娘が牛の管理を行い、今回の宮崎県予選は二人で挑んだ念願の全共挑戦でした。娘が一生懸命頑張っていたので出品した4頭の中から1頭でも選ばれてほっとしたのが、正直な感想です。大会まで残りあとわずか。ベストな状態で本戦に臨めるように大事に養っていきたいと思います。

